

第6回 水稻病虫害発生予察情報 令和7年9月10日調査

調査機関：神戸農業改良普及センター、兵庫県病虫害防除所、JA全農兵庫県本部、
神戸市西農業振興センター、NOSA I、農薬・肥料メーカー、JA兵庫六甲
発行：JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

【9月10日（水） 病虫害発生状況】

病虫害	発生程度	発生予想	薬剤	10a 当り 使用量	使用時期	使用方法	使用回数
紋枯病	少	やや少	バリダシン液剤 5	1000 倍 60~150ℓ	収穫 14 日前まで	散布	5 回 以内
カメムシ類	平年並	やや多	下表、ウンカ類・カメムシ類対策参照				
トビイロウンカ	-	平年並					
セジロウンカ	少	やや少					
ヒメトビウンカ	少	平年並					

＜トビイロウンカ（秋ウンカ）＞

トビイロウンカが多発した場合は坪枯れや収量にも影響しますので、圃場(特に株元)をよく観察し、発生が確認されたら早急に防除し、最寄りの支店へご連絡ください。

＜カメムシ類＞

西区管内の発生程度は少ないですが確認されています。今後も「**やや多**」と予想されますので、ヒノヒカリ等の晩生品種は出穂5~7日後に「スタークル粒剤、スタークル豆つぶ」等で防除して下さい。

＜紋枯病＞

西区管内で発生が確認されています。紋枯病が株元から上位第3葉の葉鞘まで発生した場合は防除をして下さい。今年発生した圃場は来年も発生する可能性が高いため、発生しているかどうか、稲刈り前に確認をしましょう。発生している場合は、次年度は紋枯病に適用のある箱剤(例：ルーチンエキスパート箱粒剤等)での予防を行うようにしましょう。

ウンカ類・カメムシ類対策

薬剤名	対象害虫	10 a 当り使用量	使用時期	使用回数
スタークル粒剤	ウンカ類、カメムシ類、	3 k g	収穫 7 日前まで	合計 3 回 以内
スタークル豆つぶ	ウンカ類	250~500 g		
	カメムシ類	250 g		
スタークル顆粒水溶剤	ウンカ類	3000倍 60~150ℓ		
	カメムシ類	2000倍 60~150ℓ		

収穫について !! 渇水警報発令中!! 今後も限られた水を有効に使いましょう!

【水管理】 収穫が10月以降の品種では、早期落水をせず、(落水までは)間断かん水に努めましょう。

落水は、圃場の乾燥状況に注意して刈取り7日前を目安に行ってください。

早期落水は、粒張りを悪くし、乳白米や腹白米の発生など、米の品質を悪くします。

【刈取り】 刈取り適期は、85%以上のモミが黄化する頃です。

今年は生育当初から高温が続き、収穫適期が早まっている可能性があります。

圃場状態、稲の状態をよく確認し、適期の刈取りに努めましょう!

きぬむすめは遅れ穂が比較的出やすく、全体の成熟期が見にくい傾向にあります。

圃場に入って数ヶ所から穂をとり、黄化モミの割合を観察することをお勧めします。



【9~10月のカントリー荷受け】

コシヒカリ	9月 2日(火) ~ 9月 24日(水)
きぬむすめ	9月 25日(木) ~ 10月 13日(月)
ヒノヒカリ	10月 7日(火) ~ 10月 31日(金)
飼料用あきだわら	10月 15日(水) ~ 10月 31日(金)

【荷受け休業日】

9月 16日(火)、22日(月)、29日(月)
10月 6日(月)、14日(火)、
20日(月)、27日(月)

☆水稻栽培日誌の記帳を必ず行い、刈取り・出荷の一週間前までにJAの各支店までご提出ください

第5回 水稻病虫害発生予察情報 令和7年8月20日調査

調査機関：神戸農業改良普及センター、兵庫県病虫害防除所、JA全農兵庫県本部、
神戸市西農業振興センター、NOSA I、農薬・肥料メーカー、JA兵庫六甲
発行：JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

【8月20日（水） 病虫害発生状況】

病虫害	発生程度	発生予想	薬剤	10a 当り 使用量	使用時期	使用方法	使用回数
紋枯病	少	やや少	バリダシン液剤 5	1000 倍 60~150ℓ	収穫 14 日前まで	散布	5 回 以内
カメムシ類	少	やや多	下表、ウンカ類・カメムシ類対策参照				
トビイロウンカ	無	平年並					
セジロウンカ	中	やや少					
ヒメトビウンカ	中	平年並					

＜トビイロウンカ（秋ウンカ）＞

西区管内で発生は確認されていませんが、今月国内への飛来が確認されました。トビイロウンカが多発した場合は坪枯れや収量にも影響しますので、圃場をよく観察して、発生が確認されたら早急に防除し、最寄りの支店へご連絡ください。

トビイロウンカは稲の株元に生息していますので、株元をよく観察して下さい。

＜カメムシ類＞

西区管内の発生程度は少ないですが確認されています。今後も「やや多」と予想されますので、ヒノヒカリ等の晩生品種は出穂5~7日後に「スタークル粒剤、スタークル豆つぶ」等で防除して下さい。

＜紋枯病＞

西区管内の発生程度は少ないですが確認されています。今後の発生予想は「やや少」と予想されていますが、過去に発生した圃場は発生しやすいため、よく観察して下さい。

紋枯病が株元から上位第3葉の葉鞘まで発生した場合は防除をして下さい。

ウンカ類・カメムシ類対策

薬剤名	対象害虫	10 a 当り使用量	使用時期	使用回数
スタークル粒剤	ウンカ類、カメムシ類	3 k g	収穫 7 日前まで	3 回 以内
スタークル 豆つぶ	ウンカ類	250~500 g		
	カメムシ類	250 g		
スタークル 顆粒水溶剤	ウンカ類	3000倍 60~150ℓ		
	カメムシ類	2000倍 60~150ℓ		
トレボン乳剤	ウンカ類、イナゴ類	1000~2000倍 60~150ℓ	収穫 1 4 日前まで	3 回 以内
	カメムシ類	2000倍 60~150ℓ		

日中の作業はできるだけ避け、水分補給をしっかりと行い熱中症防止に努めましょう！

☆水稻栽培日誌の記帳を行いましょ！

出穂後の水管理

- ①出穂後は、最も水が必要な時期です。水を切らさないように湛水管理しましょう！
- ②出穂後2週間を目安に間断かん水を行い、収穫5日前までは完全に落水しないようにしましょう。
- ③吞吐ダムの貯水率は未だ低い状況です。渇水警報が出ており、今後も、限られた水を有効に使うことが大切です。

※早期落水は未熟粒・死米・乳白・胴割れの原因となるため注意！！



JA兵庫六甲のHPで病虫害発生予察情報が確認できます！
こちらの二次元バーコードからチェック！！



第4回 水稻病虫害発生予察情報 令和7年8月6日調査

調査機関：神戸農業改良普及センター、兵庫県病虫害防除所、JA全農兵庫県本部、
神戸市西農業振興センター、NOSAI、農薬・肥料メーカー、JA兵庫六甲
発行：JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

【8月6日(水) 病虫害発生状況】

病虫害 雑草	発生 程度	発生 予想	薬剤	希釈倍数 10a 当り 使用量	使用時期	使用方法	使用 回数
セジロウンカ ヒメトビウンカ	少	並	スタークル 粒剤 (※1)	3kg	収穫7日前まで (※2)	散布 (ひた ひた水～ 3cm)	3回 以内
ツマグロヨコバイ	少	並					
トビイロウンカ (秋ウンカ)	無	並	スタークル 豆つぶ (※1)	250～500g (ウンカ類 ツマグロヨコバイ) 250g (カメムシ類)	収穫7日前まで (※2)	散布 (湛水 3～5cm)	3回 以内
カメムシ類	少	増					

(※1)スタークルは「粒剤」
または「豆つぶ」のどちらか
を選択して下さい。

(※2)防除適期

トビイロウンカ	見つけたらすぐ
イネカメムシ	出穂5日前
イネカメムシ以外の斑点米カメムシ	出穂5～7日後

《カメムシ類》

西区管内でカメムシ類が散見されています。斑点米カメムシ類は兵庫県でも注意報が発令されており、今後多くなると予想されていますので、「ヒノヒカリ」等の晩生品種は**出穂2週間前までに畦畔の草刈り**をして下さい。また、上記の防除適期(※2)に「スタークル粒剤またはスタークル豆つぶ」で防除を行って下さい。西区管内ではイネカメムシ成虫が発生している地区もあります。イネカメムシは出穂直後から吸汁することにより不稔穂を発生させ、収量への影響が大きいため、出穂前の圃場で見られる場合は、上記の防除適期(※2)に「スタークル粒剤またはスタークル豆つぶ」で防除を行って下さい。

《ウンカ類》

今回西区管内では”ヒメトビウンカ”や”ツマグロヨコバイ”が確認されました。”トビイロウンカ”は確認できませんでしたが、多発した場合は坪枯れにより収量にも影響しますので、圃場をよく観察していただき、発生が確認されたら早急に防除して下さい。

出穂後の水管理

- ①今年のコシヒカリの出穂が早い傾向にあります。
 - ②出穂後は、最も水が必要な時期です。水を切らさないように湛水管理しましょう！
 - ③出穂後2週間を目安に間断かん水を行い、収穫5日前までは完全に落水しないようにしましょう。
 - ④吞吐ダムの貯水率は未だ低い状況です。**渇水警報が出ており、今後も、限られた水を有効に使うことが大切です。**
- ※早期落水は未熟粒・死米・乳白・胴割れの原因となるため注意！！**



日中の作業はできるだけ避け、水分補給をしっかりと行い熱中症防止に努めましょう！

☆水稻栽培日誌の記帳を行いましょう！



JA 兵庫六甲の HP で病虫害発生予察情報が確認できます！
こちらの二次元バーコードからチェック！！

第3回 水稻病虫害発生予察情報 令和7年7月23日調査

調査機関：神戸農業改良普及センター、兵庫県病虫害防除所、JA全農兵庫県本部、
神戸市西農業振興センター、NOSA I、農薬・肥料メーカー、JA兵庫六甲
発行：JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

【7月23日(水) 病虫害発生状況】

病虫害 雑草	発生 程度	発生 予想	薬剤	10a 当り 使用量	使用時期	使用方法	使用 回数
カメムシ類	少	増	スタークル 粒剤(※)	3kg	収穫7日前まで (出穂してから5日 前後が効果的)	散布(ひた ひた水~ 3cm)	3回 以内
セジロウンカ	少	並	スタークル 豆つぶ(※)	250g (カメムシ類)	収穫7日前まで (出穂してから5日 前後が効果的)	散布(湛水 3~5cm)	3回 以内
ヒメトビウンカ	少	並		250~500g (ウンカ類、 ツマグロヨコバエ)			

(※)スタークルは「粒剤」か「豆つぶ」どちらかを選択して下さい。

《カメムシ類》

“**斑点米カメムシ類の注意報**”が発表されています。今回の調査でも発生が確認され、今後さらに増加することが予想されます。対策として、**出穂2週間前までに畦畔の草刈り**をして下さい。(出穂直前の草刈は本田内にカメムシ類を追い込むことになるため、注意してください)

特に、今回の調査では確認されていませんが、**ミナミアオカメムシ**は群生し、幼虫も厄介です。水稻だけでなく野菜にも影響を及ぼします。出穂5~7日後に「スタークル粒剤、豆つぶ」等で防除をして下さい。また管内で、**イネカメムシ**の発生が確認されております。発生を確認した場合は出穂前後の2回防除を実施してください。※例年、等級落ちの原因の上位は「カメムシ被害」です。

《**紋枯病**》今回の調査では発生が確認されていませんが、茎数が多いと風通しが悪くなり発生が助長されますので、圃場をよく観察して早期発見に心がけましょう。

※特に前年に紋枯病の発生が多かった圃場は、今年も発生の恐れがあるため注意が必要です。

出穂前後の水管理

- ①出穂1カ月前には、中干しを終わらせましょう！
- ②中干し後は、間断灌水を行い、根に酸素を供給しましょう！
- ③吞吐ダムの貯水率は未だ低い状況です。
渇水警報が出ており、今後も、限られた水を有効に使うことが大切です。
- ④出穂前後(出穂前1週間~出穂後1週間)は稲が水を必要とするので、
湛水管理をしましょう！
早期落水は未熟粒・死米・乳白・胴割れの原因となるため注意！！

日中の作業はできるだけ避け、水分補給をしっかりと行い熱中症防止に努めましょう！



☆水稻栽培日誌の記帳を行いましょう！

JA兵庫六甲のHPで病虫害発生予察情報が確認できます！
こちらの二次元バーコードからチェック！！



第2回 水稻病虫害発生予察情報 令和7年7月9日調査

調査機関：神戸農業改良普及センター・兵庫県病虫害防除所・JA全農兵庫県本部・
神戸市西農業振興センター・NOSA I・農薬、肥料メーカー・JA兵庫六甲
発行：JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

【7月9日(水) 病虫害発生状況

今回の調査では、ウンカ類が少し見られる程度でしたが、管内の圃場にて不稔米を発生させる「**イネカメムシ**」が確認されました。

病気の発生はほとんど見られませんでした。一部の圃場では雑草（ホタルイや藻類）が多発していますので、多い圃場については除草剤散布を行いましょ。.....

カメムシ類対策

「**イネカメムシ**」は斑点米を発生させるほか、出穂期にもみの基部を加害することにより、不稔米を発生させます。発生量が多く防除未実施の場合は**大幅な減収**となる可能性があります。

山際や畦畔雑草が多い圃場、昨年も出ていた圃場、周辺の圃場と出穂期が異なる圃場等では被害が多くなることが予想されます。特に注意してください。

対策：**出穂期(前)と出穂後の2回防除**を！

出穂2週間前までに、水田周辺のイネ科雑草の草刈りを完了！

時期が遅れると乳熟期にカメムシ類を田んぼへ追い込んでしまうので注意！！

出穂前 1回目防除 **出穂後5~7日頃** 2回目防除

①スタークル粒剤(3kg/10a) ②スタークル豆つぶ(250g/10a) *収穫7日前まで

③クラブ粒剤(3kg/10a)*収穫14日前まで ①~③のいずれかで防除しましょ。.....



軽めの中干しをしましょ！

！！ 渇水警報発令中！！

今年は梅雨が早く明けたこともあり、**7/11時点の呑吐ダムの貯水率は約40%と低い状況にあります。今後は、限られた水を有効に使うことが大切です。**中干しについては、目標茎数(20本)の約8割が確保された頃に、田の表面に足跡が残る程度の軽めの中干しを行ってください。漏水の原因になるので、大きなひびが入るような強い中干しは、しないでください。中干しは、無効分げつの発生を抑え、根を健全に深くのばす効果があります。

出穂前後の水管理が大切です！！

中干し後の水管理は、かけ流しを避け、間断灌水により田面を乾かさないようにしてください。出穂前後1週間は、特に水を必要とするため、灌水回数を増やし、田面を湿潤に保ってください。以降は、もみを充実させるため間断灌水をしてください。また、畦畔等から漏水がないか点検し、漏水がある場合は、至急補修をしてください。.....

雑草対策！※詳細は水稻栽培暦を参照

雑草・藻の多発田では、肥料分が吸われてしまい、水稻の生育を抑制しますので対策を！
畔際に多いキシウスズメノヒエ、イボクサ、クサネムは、あらかじめ手取りで除草した後
に除草剤を散布しましょ。

☆ 中干しがまだの圃場...【ゲパード1キロ粒剤、ゲパードジャンボ】湛水散布。収穫60日前まで。

☆ ホタルイ多発の圃場...【バサグラン液剤】収穫45日前まで。

落水散布又はごく浅く湛水して散布。※高温時薬害注意

☆ 藻類多発の圃場...【モグトン粒剤】湛水散布。収穫45日前まで。



☆水稻栽培日誌の記帳を行いましょ！

JA兵庫六甲のHPで病虫害発生予察情報が確認できます！
こちらの二次元バーコードからチェック!!



第1回 水稲病害虫発生予察情報 令和7年6月18日調査

調査機関：神戸農業改良普及センター・兵庫県病害虫防除所・JA全農兵庫県本部・
神戸市西農業振興センター・NOSA I・農薬、肥料メーカー・JA兵庫六甲
発行：JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

今年も水稲病害虫発生予察が始まりました！管内の圃場を調査し、9月上旬まで2週間に1度、6回の発生予察情報をお届けする予定です。 次回調査日：7月9日(水)



【6月18日(水) 病害虫発生状況】

- 一部圃場に「セジロウカ」の発生がみられましたが、今のところ発生程度は少ないです。
- 今年兵庫県病害虫防除所より「ヒメトビウンカ」、「いもち病」の発生予想は「**平年並**」と予想されています。置苗は「いもち病」の感染源になりますので、早期に処分して下さい。
- 「**ジャンボタニシ(スクミリンゴカイ)**」に注意してください。今回の調査でも一部圃場にて発生が見られました。発生地域の拡大を防ぐために、圃場をよく注意して観察し、適切な防除をして下さい。鮮やかなピンク色の卵は水中では孵化しないので、卵塊を見つけたら水中にかき落としてください。孵化直前の赤黒い卵は必ず潰しましょう。また、卵、貝には素手で触らないように注意してください。

薬剤	適用病害虫	使用時期	10aあたり 使用量	使用回数	使用方法
スクミノン	スクミリンゴガイ	収穫60日前まで	1～4kg	2回以内	散布

【とりこぼし雑草の防除を行いましょう！】

- 一部圃場において、**ホタルイ**等の雑草の発生が見られました。手遅れにならないよう、適期に防除を行って下さい。

薬剤	適用雑草	使用時期	10aあたり 使用量	使用回数	使用方法
アトカラS ジャンボMX	一年生雑草、ホタルイ、クログワイ、オモダカ キシユウスズメノヒエなど	移植後14日～ノビエ3.5葉期 (収穫45日前まで)	小包装 20個(500g)	1回	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる
サンパンチ 1キロ粒剤	一年生雑草、多年生広葉雑草、アオミドロ・ 藻類による表層はく離、キシユウスズメノヒエ	移植後15日～ ノビエ3.5葉期 (収穫60日前まで)	1kg	1回	湛水散布
バサグラン 液剤	一年生雑草(イネ科を除く) ホタルイ、クサネム、オモダカ、クログワイなど	移植後15日～収穫45日前まで	500～700ml (希釈水量 70～100L)	2回以内	落水散布又はごく浅く湛水して散布
モゲトン粒剤	ウキクサ類、藻類(アオミドロ・アミミドロ)	ウキクサ類・藻類の発生始～ 発生盛期(収穫45日前まで)	2～3kg	3回以内	湛水散布

※農薬の使用は、必ず農薬容器、袋のラベル等の記載内容を確認し、適正な方法で使用してください。

【今後の水管理】

- 分げつが進んでいる圃場もあります。田植後の生育状況を確認し、目標茎数の約8割が確保できた頃に田の表面に足跡が残る程度の中干しを行って下さい。土中へ酸素を供給し、根を健全に保ちます。
- 今後の気温の上昇により「ガス」が湧きやすくなります。ひどい圃場については2、3日落水し「ガス」抜きを行って下さい。



☆水稲栽培日誌の記帳を行いましょう！